

平成 21 年度 情報通信技術系技術講習会報告

若松 進

工学研究科・工学部技術部 情報通信技術系

今年度の情報通信技術系技術講習会のテーマは、ここ数年来問題となっている「ウイルス感染」についての現状把握、感染防止対策や感染時の対応方法の紹介を行うことになった。

本講習会には、本技術系から 10 名、他技術系 2 名を加えた 12 名が参加し、意義のある技術講習会を開催することができた。

講習会の概要は、以下のとおりである。

開催日時：平成 21 年 9 月 9 日（水） 10:30～12:00

開催場所：技術部会議室（7 号館 B 棟 313 号室）

講師：業務調整会議メンバー

講習題目：USB メモリ経由のウイルス感染の実態とその対策法

講習概要：参考資料をもとに、リムーバブルメディア経由で感染するマルウェアの状況の説明、マルウェアが利用する機能、日本国内における被害状況の調査報告等についての紹介があった。そして、4 つの感染事例が紹介され、その中にはインターネットに接続されていない環境であるにも関わらず、USB メモリによる感染が発生し、復旧にかなりの日数を要したという事例もあった。

次に、USB メモリ等を利用したウイルス感染（パソコン OS の種類、ロック機能の有無、各種保護機能等）についての検証報告があった。その後、実際にノート PC を利用して、ウイルス感染のを見つけ方や対処方法についての実演を行った。

最後に、短時間ではあったが、いくつかの質問があり、参加者での意見交換をすることができた。

今後、不幸にも通常利用している PC にウイルスが感染した時に、本講習会で紹介したことを利用して、参加者の方自身で復旧して頂けること、また、今後リムーバブルメディアを利用する際に注意する点や、USB メモリの購入において本講習会で紹介した機能拡張 USB メモリの購入を検討した頂ければ幸いです。

参考資料

1. 「USB メモリ経由の感染機能を持つマルウェア調査報告」、JPCERT コーディネーションセンター、2009 年 6 月
2. 日経パソコン 2009 年 2 月 9 日号

有用サイト情報

1. 情報処理推進機構 情報セキュリティ (<http://www.ipa.go.jp/security/>)
2. セキュリティ診断ツール
(<http://security.c-inf.com/index.php?cmd=read&page=VulnerabilityAssessmentTools>)